

2008年4月25日

リソースオンデマンドサービスを開始 IT リソース、アプリケーション、ビジネスプロセス横断のライフサイクル全般をサポート

株式会社日立情報システムズ（執行役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下 日立情報）は、アウトソーシングサービスの強化および「中期経営計画 2007-2010」で掲げた「プール化構想（注1）」実現に向けて、システムの開発から移行、運用、保守に至るライフサイクル全般で IT リソースと運用サービスをワンストップで提供する「リソースオンデマンドサービス」を開始します。

日立情報では中核事業の一つであるアウトソーシング事業を支える基盤として、データセンタの一元監視・運用を行う「仮想統合」の実現、運用ツールの活用、運用方式の国際標準対応などデータセンタの運用品質向上・効率向上施策を継続的に実施し、高品質で高信頼なシステム運用サービスを、金融、産業、流通、公共、サービス等のあらゆる業界のお客様に提供してきました。2007年12月には、IT サービスマネジメントシステム認証の国際規格「ISO/IEC 20000（注2）」の認証を、従来の「金融業界向けデータセンタサービス」からアウトソーシングセンタ事業全体を対象にした「データセンタサービス」へと拡大し、認証取得しています。

今回提供を開始する「リソースオンデマンドサービス」は、最新テクノロジーと運用ノウハウをナレッジデータベース化した当社のデータセンタ内にサーバ、ストレージ、ネットワーク等を用意し、その中に業務システムを割当て、運用と合わせたサービスとして提供するものです。

このサービスにより、お客様の TCO 削減、リソース需要の変化へのタイムリーな対応、障害対応力強化によるノンストップサービス、グリーン IT 化による省電力、整備された運用ツールによる内部統制の強化等を実現します。

まず第一ステップとして、サーバ、ストレージ、ネットワーク機器などの IT リソースを利用量に応じて課金する「リソースオンデマンドサービス」を、本年5月から開始します。

第二ステップではアプリケーションマネジメントサービスを追加し、本年7月からメール系アプリケーションの運用を含めたサービスを開始します。以降、運用サービスの範囲を ERP パッケージ等へ順次拡大していきます。

日立情報では「リソースオンデマンドサービス」を「プール化構想」の基盤を成す中核サービスとして、メニューを順次拡充し、2010年度に100億円の売上を目指します。

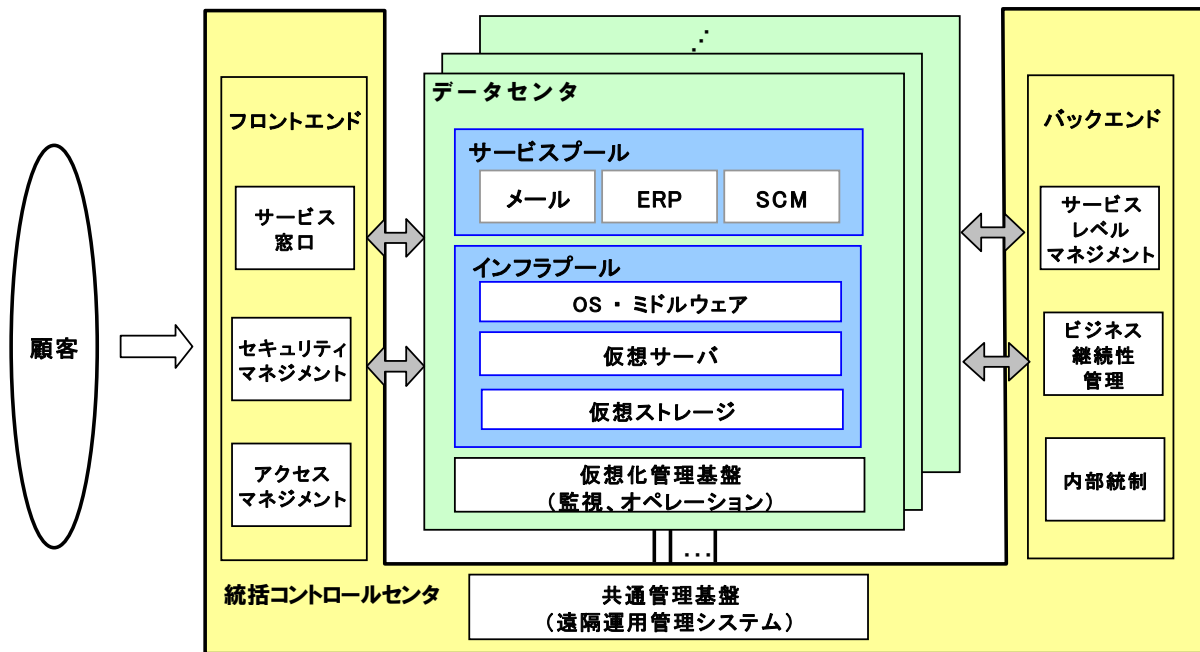
（注1）プール化構想

当社データセンタサービス事業の将来コンセプトの一つであり、お客様に「必要なときに」「必要なソリューション」を提供するために（オンデマンドサービス）、リソースを仮想化（プール化）したリーズナブルなサービスを実現する構想。

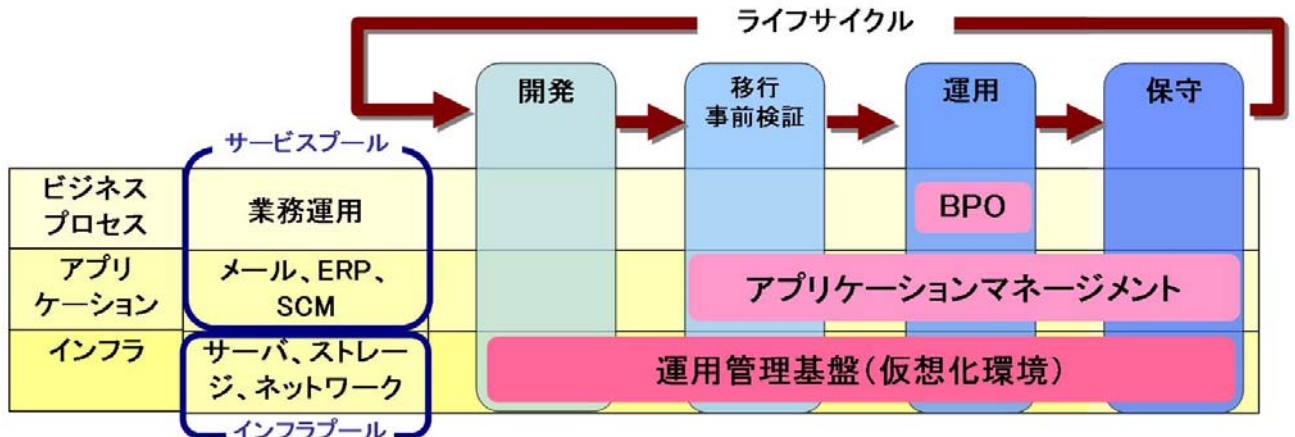
（注2）ISO/IEC 20000

IT サービスマネジメントのベストプラクティスである ITIL をベースとした IT サービスマネジメントシステム認証の国際規格

<システム構成図>



<サービス概念図>



<お客さまからのお問合せ先>

商品問い合わせ窓口

お問い合わせWebフォーム：<http://www.hitachijoho.com/contact/>

<報道機関の問い合わせ先>

CSR 本部コーポレート・コミュニケーション部 根本、赤川

TEL 03-5435-5002 (ダイヤルイン) email:press@hitachijoho.com

以上